



建滴

業者数の過剰な状態が続いたことで、中小の建設事業者は、工事を適切に完了させる技術・技能のほかに「ブラサルファ」がなければ、円滑な維持・継続が難しい状況にある。そのブラサルファの一つに、プレゼンテーション能力を挙げたい。公共発注機関だけでなく地域に、自らの存在を正しく、分かりやすく伝え、理解してもらうことは、地域に根付いて活動する企業として重要な能力のはずだ。

そのプレゼン能力の向上を目的の一つに掲げた取り組みを全国建設業協会が実施している。「技術研究発表会」だ。こじしは11月24日に関われば、100件の応募から選ばれた12事例が発表された。全建の担当者によると、2005年の第1回以降、資料や説明の質

建設業のプレゼン能力

が年々向上しているという。

今回、最優秀賞に選ばれたのは鹿児島県の林建設。法面工事で使用する親網支柱に回転ジョイントを設置し、作業範囲を従来の30度から60度に拡大した工法を発表した。技術面はもとろん、プレゼン能力が評価された。

同工法では、考案者である同社社員島田勇信（ゆうしん）氏がこじし、民とのコミュニケーションを目指し、「工事だより」を毎週作成し、手渡している。その週に、どんな目的でどんな

が年々向上しているという。今回、最優秀賞に選ばれたのは鹿児島県の林建設。法面工事で使用する親網支柱に回転ジョイントを設置し、作業範囲を従来の30度から60度に拡大した工法を発表した。技術面はもとろん、プレゼン能力が評価された。

自らを伝える努力を

法面工事の建設マスターとして顕彰されたことになみ、工法名を「スイングフラケット工法 ロープマスター」として商標登録した。さらに、親網を留める支柱のクリップを「結親（ゆうしん）」、回転ジョイントを「AKB60（安全）広範囲な施工、ぶら下がり機、60度」と名付けた。これらをユーモア交えて発表した。

法面工事の建設マスターとして顕彰されたことになみ、工法名を「スイングフラケット工法 ロープマスター」として商標登録した。さらに、親網を留める支柱のクリップを「結親（ゆうしん）」、回転ジョイントを「AKB60（安全）広範囲な施工、ぶら下がり機、60度」と名付けた。これらをユーモア交えて発表した。

自らをアピールすることが苦手だと いわれる業界にあって、見習うべき姿勢だろう。取り組みを発表した柳町博美土木部次長は、05年から工事だよりを作成し続けている。「現場代理人として当然の仕事。作成が面倒だと感じたことはない」と話す。たよりを配布してから苦情がなくなり、工事が円滑に進められている事実を聞くと、確かに「当然

自らをアピールすることが苦手だと いわれる業界にあって、見習うべき姿勢だろう。取り組みを発表した柳町博美土木部次長は、05年から工事だよりを作成し続けている。「現場代理人として当然の仕事。作成が面倒だと感じたことはない」と話す。たよりを配布してから苦情がなくなり、工事が円滑に進められている事実を聞くと、確かに「当然

法面工事の建設マスターとして顕彰されたことになみ、工法名を「スイングフラケット工法 ロープマスター」として商標登録した。さらに、親網を留める支柱のクリップを「結親（ゆうしん）」、回転ジョイントを「AKB60（安全）広範囲な施工、ぶら下がり機、60度」と名付けた。これらをユーモア交えて発表した。